

## 「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	社会福祉法人敬愛健伸会 白山ひかり保育園	受審(実施)年度 (※)	平成 25 年度	施設番号	66 -0926
-----	-------------------------	-----------------	----------	------	----------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (平成 25 年度)	改善計画 (平成 25 年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成26年4月30日時点)
地域の在宅子育て家庭の支援また、子育て家庭の交流について	現在、自主事業の「短期特例保育(一時保育)」で多くの地域の子育て家庭に保育園を利用してもらい、利用者から高評価を受けた。保育園の行事やイベントなどへの誘いや参加を声掛けしているが、参加してもらっても参加者同士が交流するまでには及ばずにいる。地域の子育て家庭にスポットを当てた講習会などを開催することで、保育園を子育て家庭が交流する場所として提供し、より開かれた保育園になるよう努めていきます。	今後は「短期特例保育」の利用者や保育園見学に訪れた、地域の子育て家庭の年齢(子どもの)層や子育ての悩み、保育園に対してのニーズなどを集約し、講習会やその他の体験の機会を設け応じていく。	1 実施済み  2 実施予定(平成 26 年 10 月ごろ)  .....  栄養士が中心となり「給食試食会」や「離乳食講習試食会」を行い、子育て家庭同士の交流の場としても活用してもらおう。また「ベビーマッサージ教室」等を開催し、リラックスした雰囲気の中で、親子が触れ合いを楽しむ機会を作っていく。
研修参加後の職員の資質向上について	職員個々の参加したい研修の要望をもとに「個人別年間研修計画」を作成している。また、職場内研修は最低でも月に2回、職場外研修への参加は受講費用の助成を行っている。職場内研修の中で、職場外研修参加者の研修報告が行われている。その中で職員間の共有は図っているが、研修参加者自身の資質向上に役立ったのかどうか、保育に反映されているのかどうかの振り返りを行っている。	研修参加者は、研修内容を実際の保育の現場でどのように活用し、参加者自身の資質向上にどう結び付いたのかを確認していく。また、職場内研修で報告を聞いた職員の中でも、研修内容が保育に活かされた場合は報告し合い、職員全体の共有化を図る。	1 実施済み  2 実施予定(平成 年 月ごろ)  .....  職場内研修の中で、研修内容実践後の報告を行い、振り返りを行う。
安全確保・向上に向けた体制づくりについて	「事故と応急マニュアル」や「感染予防マニュアル」、消防計画を作成し「保育の手引き」に収録し、職員間で共有しているが、座学を行うにとどまっているので救急法など応急手当の仕方を学べるようにする。	職員会議などで定期的に「マニュアル」の読み合わせを行い、安全確保に関する座学の機会を増やし、救急法などの実技や実践を取り入れる。	1 実施済み  2 実施予定(平成 26 年 10 月ごろ)  具体的には以下のとおりです。  保育園を管轄する最寄りの消防署に連絡し、保育園内で応急手当や救急法の実技講習会を開催する。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できま